

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 8 年 6 月 30 日

山口県知事 様

提出者

住 所 山口県山陽小野田市大字小野田6289番18

氏 名 共英製鋼株式会社 山口事業所

常務執行役員 山口事業所長

国丸 洋

電話番号

0836-83-6172

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	共英製鋼株式会社 山口事業所
事業場の所在地	山口県山陽小野田市大字小野田6289番18
事業の種類	鉄鋼業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	83000 t	全処理委託量	0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	76600 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	4400 t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	2000 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

(日本産業規格 A列4番)

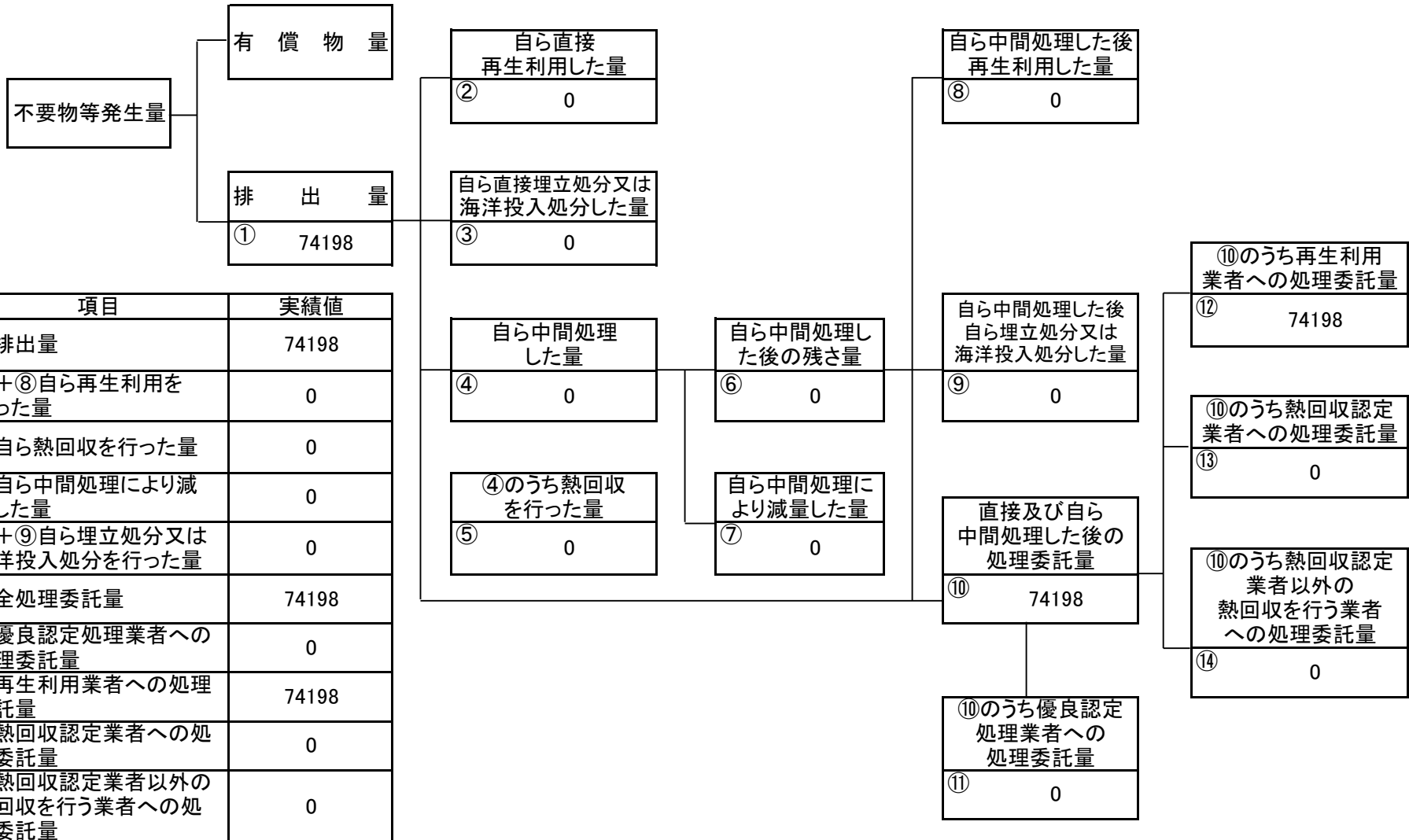
多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書(令和7年度実績)

多量排出事業者 名 称	共英製鋼株式会社 山口事業所	所在地(市町名)	山陽小野田市	事業の種類	鉄鋼業
-------------	----------------	----------	--------	-------	-----

区分	種 別	計 画 の 実 施 状 況																	そのうち農産物取引業者への給付委託量				そのうち農産物取引業者への給付委託量			
		①排出量	②そのうち農産物取引業者への給付委託量	③そのうち農産物取引業者への給付委託量	④そのうち農産物取引業者への給付委託量	⑤そのうち農産物取引業者への給付委託量	⑥そのうち農産物取引業者への給付委託量	⑦そのうち農産物取引業者への給付委託量	⑧そのうち農産物取引業者への給付委託量	⑨そのうち農産物取引業者への給付委託量	⑩そのうち農産物取引業者への給付委託量	⑪そのうち農産物取引業者への給付委託量	⑫そのうち農産物取引業者への給付委託量	⑬そのうち農産物取引業者への給付委託量	⑭そのうち農産物取引業者への給付委託量	⑮そのうち農産物取引業者への給付委託量	⑯そのうち農産物取引業者への給付委託量	⑰そのうち農産物取引業者への給付委託量	⑱そのうち農産物取引業者への給付委託量							
畜 産 物	豚糞																									
	鶏糞																									
	牛糞																									
	馬糞																									
	鶏アルカリ																									
	鶏プラスチック類																									
	紙くず																									
	木くず																									
	繊維くず																									
	動物性残渣																									
	動物系固形不要物																									
	ゴムくず																									
	金属くず																									
其 他	ガラスくず、セラミックスくず、陶磁器くず																									
	紙くず	74,198								74,198	74,198	74,198														
	がれき類	5,918		4,608						1,311	1,311	1,311														
	動物のふん尿									0	0	0														
	動物の死体									0	0	0														
	ばいじん	2,103			2,103		2,174			2,174	0	0														
	13号産業物									0	0	0														
	計 (A)	82,219	0	4,608	2,103	0	2,174	0	0	2,174	75,509	75,509	75,509	0	0	0	0	0	0							

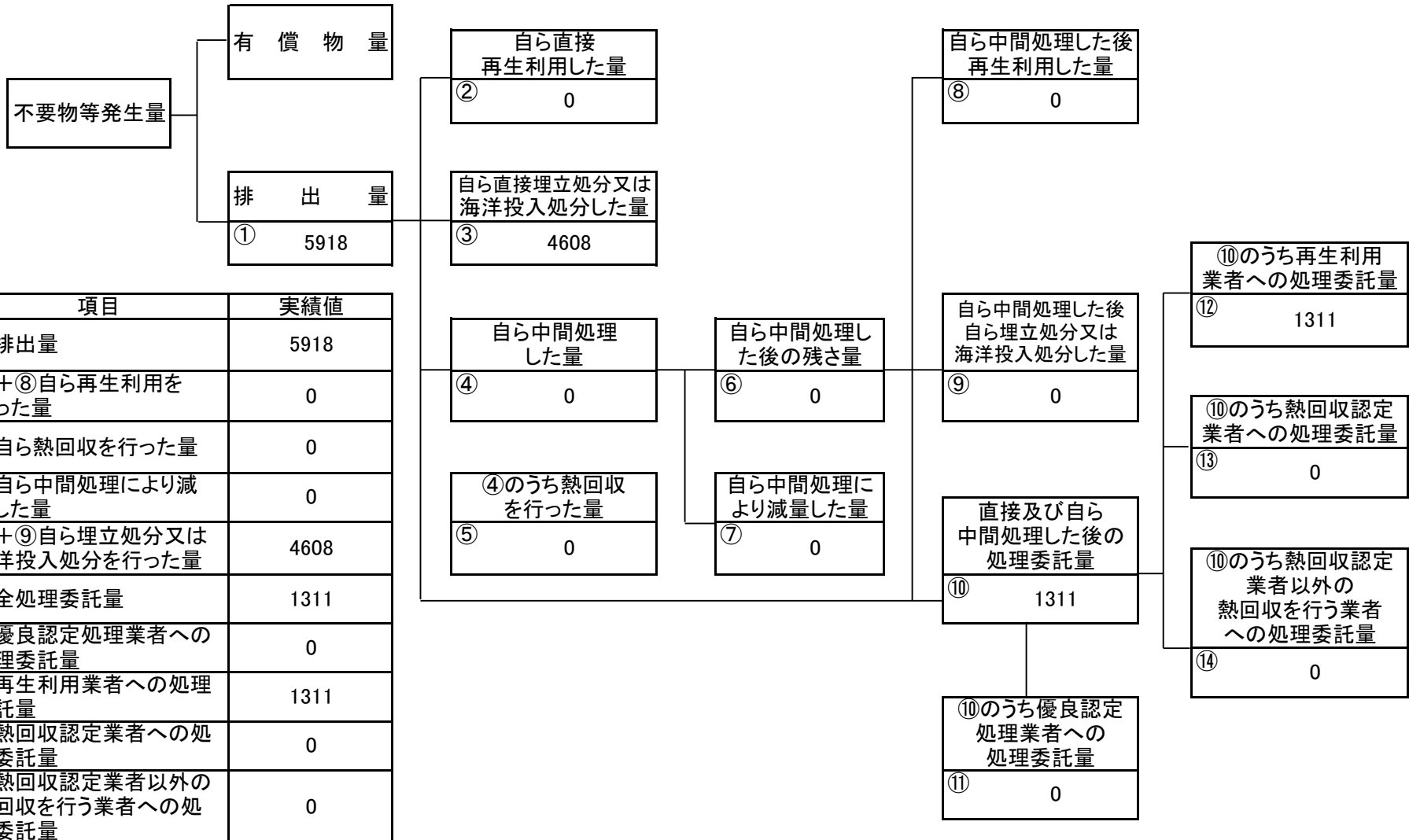
計帳出量	全・主倉庫の両 方利用を行っ た量	全倉庫稼回収 を行った量	子倉庫稼回収 により減量し た量	③・④主倉庫と 親倉庫間で移 入移入分を 行った量	⑤全倉庫稼回 率	川巻島認定貯 蔵庫への移入 増委託託量	⑥完全利用倉 庫への移入増 委託託量	⑦非稼回収貯 蔵庫への移入 委託託量	⑧稼回収認定 増委託託量	⑨稼回収認定 増委託託量
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
74,198	0	0	0	0	74,198	0	74,198	0	0	0
5,918	0	0	0	4,608	1,311	0	1,311	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2,103	0	0	0	2,114	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
82,219	0	0	0	6,782	75,509	0	75,509	0	0	0

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 鋳さい)



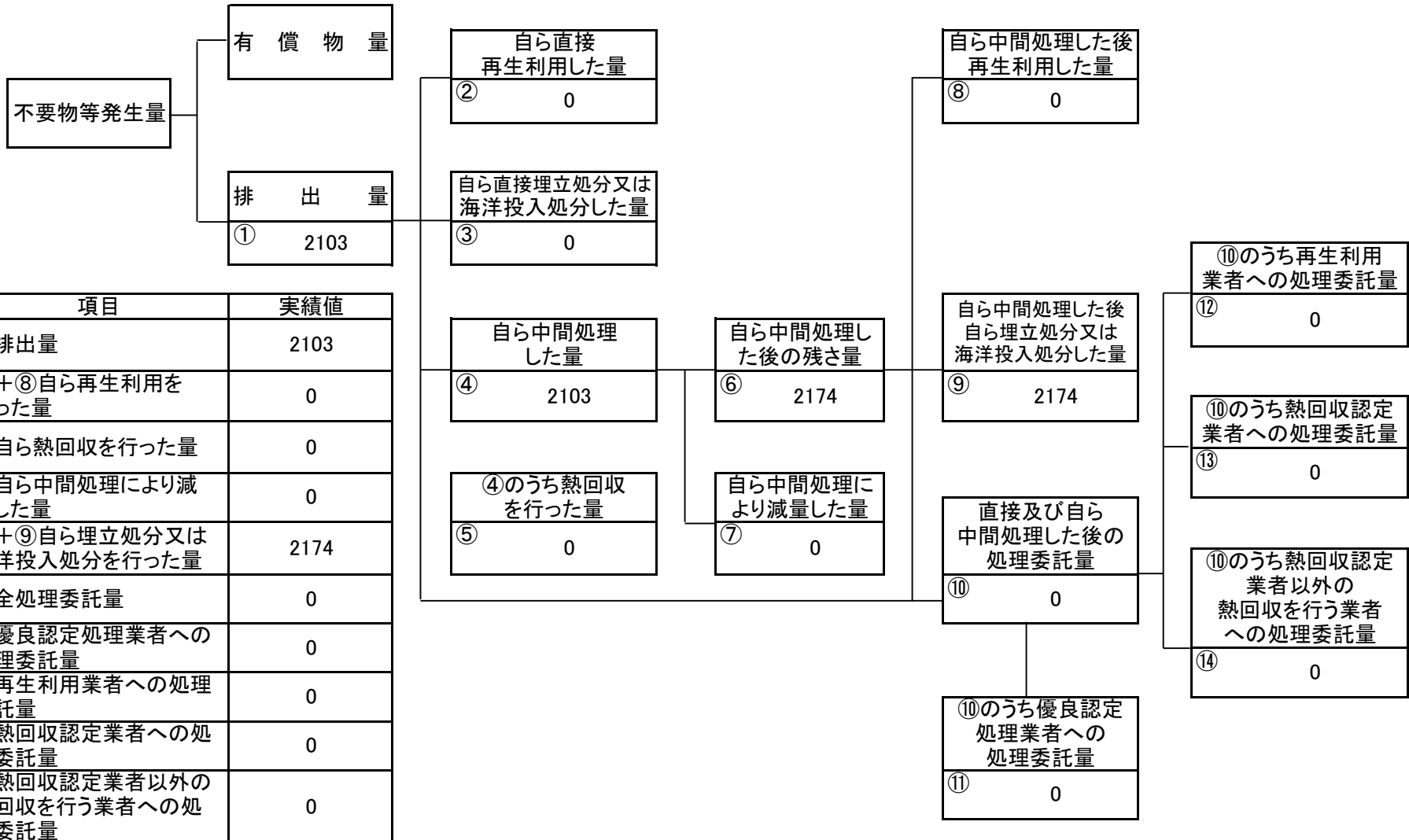
(第2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: がれき類)



(第2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: ばいじん)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。